

マイナビ電子書籍・VOD比較 ドラマ「半沢直樹」の感想調査

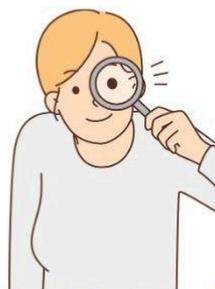


「半沢直樹」の感想・評価を調査！

 U-NEXT

完全無料配信中！

5.0



Yさん: ★★★★★

最大の見どころは、表情豊かな“怪演”を魅せる香川照之ら敵役の俳優陣と、主人公の半沢を演じる堺雅人との丁々発止の応酬。

原作小説に描かれた銀行員らしい清濁併呑の人間ドラマを大切にしつつ、福田組作品ならではの一度見たら忘れられないインパクト絶大なキャラクター演出が、各話の、そして全話を通じての痛快な展開をより一層盛り立てている。

Mさん: ★★★★★

池井戸潤さんの他の作品ともつながっていて、大きな流れの中でどのような位置づけになっているかということを考えながら見るのも、半沢直樹の面白いポイントです。半沢直樹がどのようにして真実をつかんでいくのか、どのような状況になってもぶれない軸をもって仕事にまい進する姿は、勇気とパワーをもらえます。

Sさん: ★★★★★

銀行やベンチャー企業の不正を次々と暴いてゆく主人公の半沢の活躍が痛快です。正義感が強い半沢ゆえに心に残る台詞も多いのですが、高圧的だったり怒鳴ったりするキャラが多く、口論の場面になるとうるさいと感じられることもあります。こんなにもクセのある人いるのかなと思うほど個性的なキャラクターが出てくるのは笑えるし面白いです。

Sさん: ★★★

とある決め台詞で有名な本作ですが、見ていてスカッと出来る作品です。

物語の主人公の多くは、自分が被害を受けても笑って相手を許すような聖人。ですが、半沢直樹はそうはいきません。彼のスタイルを実生活にまで持ち込んでしまうと、トラブルの嵐になりそうですが、現実で出来ない分、ドラマの中で楽しむには十分だと思います。

Jさん:★★★★★

私はドラマ「半沢直樹」が日本ドラマ史上最も熱量の高い作品だと思います。主人公の半沢直樹が自身が勤めているメガバンク内で成り上がり復讐していく過程はカタルシスがあり、とても興奮します。そして役者全員の演技もとても素晴らしいです。中でも宿敵、大和田常務役を演じた香川照之さんの表情演技は特に印象に残っています。「半沢直樹」は日本ドラマ史に残る傑作だと思います。

Eさん:★★★★★

銀行員が債権を回収するというありきたりなストーリーですがこのドラマの特徴は題名通り、主人公半沢直樹のキャラクター性にあります。自分の信念や部下のためなら権力者に逆らう事もいとわない侍気質のキャラクターのその反骨精神に満ち溢れた言動からは要所で強いカタルシスを感じられます。銀行がテーマではありますがストーリー構成はわかりやすい勧善懲悪ものなので印象よりも見やすいドラマでした。

Sさん:★★★★★

個人的にかなりはまったドラマでした。銀行員のドラマは堅いイメージがあり、興味はありませんでしたが、堺雅人さん演じる主人公や友人達のストーリーが複雑に絡み合っていて面白かったです。ハラハラドキドキのシーンも多くありましたが、時々コメディ要素があり、笑う場面もありました。銀行の事は詳しくありませんでしたが、説明などはさんでくれるので理解できます。いい勉強にもなりました。

Mさん:★★★

キーワードで話題になったという感じではあるのですがやられたことをやり返す といったような分かりやすい目的意識があるところが人気になった理由であると思います。個人的にはあんまり役者さんの顔が好きではなかった。

Hさん:★★★★★

「倍返しだ」のセリフで人気がありましたが、下の人間が魔物のような上役を退治するといった内容で気持ち良かったです。2では、相手が大物になってその相手に謝罪や土下座をさせるなど痛快でした。堺さんの迫真ある演技も良かったです。

Fさん:★★★★★

「倍返しだ！」の有名なセリフが聞ける。ただそれだけで、見る価値があります。さらに、10倍返し・100倍返しという言葉も出てきます。銀行員の話なので、ドラマの内容はちょっと難しいですが、見ていて面白いので満足です。

Bさん:★★★★★

かなりヒットしたドラマですが、それは理解できます。半沢が敵対してる相手を懲らしめるシーンに痛快さを感じました。水戸黄門が悪行を働く代官を懲らしめる痛快さに似ています。イライラさせられて最後に印籠を出す痛快さです。

Iさん:★★★★★

半沢直樹は、子供時代に父親を亡くしている。父の死には、銀行の裏切り行為が関係していた。大人になり、銀行で働いている半沢直樹は、ある日、責任を全て押し付けられそこから窮地に追い込まれるが、なんとか証拠などを見つけ、悪い人は誰なのかを追い詰めていく。悪いことをしている人たちは許さない、そんな正義に溢れながらも見ていて常にドキドキハラハラしっぱなしのドラマである。

Sさん:★★★★★

予想外の展開が次々と出て来てハラハラドキドキで、次回が楽しみで待ちきれないくらいでした。最後も半沢直樹が偉くなるのかと思いきや予想外の展開になり終わりましたが、次回に繋がる内容で、次回作がすごく楽しみになりました。

Hさん:★★★★★

地味でめだたない銀行員の主人公が、周囲の権力争いや派閥闘争に巻き込まれつつも、銀行員ならではの粘り強さと実直さでトラブルを解決するのが面白かったです。しかも、ただ真面目なだけでなく、決めゼリフのような強さもあるので、スカッとします。

Tさん:★★★★★

半沢直樹の真っ直ぐで誰にも負けないという1本芯が通った性格がかっこよくて、応援したくなるドラマです。憎たらしい人が多くて、ムカついてしまうけれど、やられたら100倍にしてやり返すのが気持ち良かったです。

Yさん:★★★★★

半沢直樹は、多くのトラブルを乗り越えているように感じ、素晴らしい方だと思いました。堺雅人さん演じる半沢直樹の活躍するシーンに見どころがありました。自身も見返したい、やられたらやり返すという気持ちが強くなり、モチベーションが高まるドラマだと感じました。

Wさん:★★★★★

あきらめない主人公たちの気持ちがありますので応援したくなりました。そこから紹介してもらった人とのつながりで、情報をもらいにいくところや、その仕事に対する半沢さんのプロ意識やそれにひるみながらも、そこから夢をあきらめることを知らない、もうここであきらめたら戻れないから必死にすがりつくあきらめない心がとても応援したくなった理由です。

Pさん：★★★★★

主人公半沢が色んな銀行員として頑張っていく所もかっこよかったです。

名台詞で、やられたらやり返す倍返しだと、言ったセリフも、印象的でした。

豪華俳優陣が、凄かったです。

上戸彩さんの奥さん役も、素敵でした。

Hさん：★★★★★

大好きなドラマです。

小説は読んだことはありませんが、こちらもいずれは読んでみたいと思ってます。

憎たらしいライバル達との攻防戦、毎回手に汗握りながら半沢を応援し、倍返しした時の爽快感がたまたら最後まで観てました！

Mさん：★★★★★

半沢直樹はなんといっても会社の制度のリアルさがドラマを面白くしていると思います。犯罪のギリギリの場所を使い相手を欺いていくのがドラマをより裏の世界のように見せてドロドロとした戦いが続きます。役者の演技が最高でその世界の厳しさをより際立ててくれます。

Nさん：★★★★★

日曜劇場は難しそうな内容の物が多く、嫌煙していた私が唯一最後まで観れたドラマでした。なので日曜劇場を観始めようと思う方は初めに観るのにおすすめです。

出演者は豪華であり、善人・悪人と分かりやすい。またオーバー気味な演技もストーリーとは別に楽しめる部分であるかと思っています。

Yさん：★★★★★

視聴率40パーセントを超えてくるだけあって、ほんとに内容が濃く、見入ってしまうドラマです。主人公の演技力が凄まじく感情移入してしまいます。金融業界の事はさっぱり分からないので話の内容的にはかなり難しいと思うのですが、理解できてしまいます。胸が熱くなるシーンも沢山有り、感動も有り、勇気も貰える。そんなドラマに出会えた事を嬉しく思います。

Oさん:★★★★★

最初から最後までハラハラドキドキが止まらないスリル満点なドラマです。社会で働く方々ならば誰しもが共感も出来る内容なのではないでしょうか。見ているこちらまで悔しくなったり悲しくなったり感情を揺さぶられる作品です。また登場人物の方々が迫真の演技でとても素晴らしいです。一度見た作品ですがまた見たいと思えるドラマでした。老若男女楽しめるかと思います。

Sさん:★★★★★

だいぶ遅らせながらサブスクでシーズン1から観ました。たくさんの方がハマるのがよくわかります。ストーリーの構成がしっかりしていて、半沢さんの、倍返しだ！が本当にスカッとします。他の俳優さんたちの演技も素晴らしく、顔の表情もあいまっての演技でした。見始めると1時間はあっという間で時間を忘れるくらい集中して見てしまいました。続編があれば、ぜひみたいです

Rさん:★★★★★

登場人物のほとんどが意見をズバズバ言うので見ていて痛快で面白かった。いい年の大人たちが逆ギレや大声で何か言うだけで面白い。話もわかりやすいし、お金のことには疎いが見ているだけで勉強になる場面もあった。正義と悪がはっきりしているのが面白さ、人気の理由なのかなとも思い、見たことない人には見てほしいと思った。

Yさん:★★★★★

今まで見てきたドラマの中で断トツに一番おもしろいと思う。

主人公の半沢直樹が上司や他社の難敵を次々やっつけていく姿の本当に爽快な気分になる。

またちゃんと裏切ることなく支えてくれる仲間もおり、周りが敵だらけという事もない。

そしてなんといってもそれぞれのキャラクターの濃さが際立っている。敵も味方も魅力ある存在感がこの世界観を生み出している。

Pさん:★★★★★

銀行だけでは金融業界に蔓延る闇に1人のサラリーマンが立ち向かうドラマ。信念を持った主人公が次々と現れてくる困難に立ち向かう姿は、非常に熱く、ときにはヒヤリとする場面も多い。主人公はもちろんのこと仲間となる同僚や上司、家族、そして敵役までも1人1人の個性が強く、魅力的ならキャラクターで溢れかえっている。そして有名なあの決めゼリフもここぞという場面が出るからこそ痛快さも抜群である。

Sさん:★★★★★

私が今まで見たドラマの中でこの「半沢直樹」が一番興奮することができるドラマであった。そして「倍返し」という言葉が流行語にもなっていたが私はそれよりも「やられたらやり返す」という言葉のほうが好きである。理由としてはこの言葉を言いたくて言えないサラリーマンが多いからである。

Kさん: ★★★★★

銀行という職場を、見た目しか知らない人にとっては、信じられないドラマかもしれませんが、お客様から預かったお金をどの様にしているのか？他行との争いは、決してフィクションとは言えない部分があるドラマだと思っています。大晦日の日は地獄だと言われてます。決算でたった一円でも合わなければ、何処で狂ったのかを調べなくてはならない。又、SEの存在もわすれてはならない。高い給料を貰ってるだけの仕事だと思う。

Hさん: ★★★★★

「半沢直樹」は、金融業界を舞台にした緻密なドラマで、大胆な戦略と強い信念を持つ半沢が、困難な状況に立ち向かう姿がスリリングで、観る者を引き込む力があります。緊迫感あふれるストーリー展開と、強烈なキャラクターたちが見どころで、権力の中での戦いと逆転劇が胸を熱くさせます。正義と復讐の要素が絶妙に組み合わさった、エンターテインメント性の高いドラマかと思います。